

(書式3)

全教科についての指導方法の課題分析と授業改善策

教科名	保健体育	教科主任 梅川 恭子
-----	------	------------

1. 指導方法の課題と具体的な授業改善策及び補充指導等の計画

<第1学年>

指導方法の課題の分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
<p><新体力テストの結果より></p> <ul style="list-style-type: none">男女とも50mの平均タイムは都や全国の平均より少し上か同じくらいである。女子は「持久走」、男子は「握力」が低い傾向にある。 <p><授業アンケートより></p> <ul style="list-style-type: none">「意見や質問を積極的にしている」が十分でないと感じている生徒がいる。	<ul style="list-style-type: none">「体づくり運動」の単元を工夫し、日常的に運動に取り組めるようにする。新体力テストの結果を振り返らせ、生徒自身が自分の体力について関心をもつことができるようにする。授業で生徒が意見を出しやすい雰囲気作りと場の工夫を行うようにする。グループ活動を多く取り入れ、意見を出しやすい環境を作る。	<ul style="list-style-type: none">体育委員会を活用し、朝や昼休みなどに運動に親しめる機会を作る。保健体育が苦手な生徒の個別指導を充実させ、苦手意識を少なくさせるようにする。

<第2学年>

指導方法の課題の分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
<p><新体力テストの結果より></p> <ul style="list-style-type: none">男女とも合計得点は全国・東京都の平均より低い水準にある。男子は「長座体前屈」、女子は「持久走」が低い傾向にある。 <p><授業アンケートより></p> <ul style="list-style-type: none">「意見や質問を積極的にしている」が十分でないと感じている生徒がいる。運動に親しむ能力や体力の二極化が見られる。	<ul style="list-style-type: none">「体づくり運動」の単元を工夫し、日常的に運動に取り組めるようにする。新体力テストの結果を振り返らせ、生徒自身が自分の体力について関心をもち、日常的に運動ができるようにする。練習やゲームなど誰でも取り組める内容に工夫し、楽しく運動ができるようにする。(特に女子)	<ul style="list-style-type: none">体育委員会を活用し、朝や昼休みなどに運動に親しめる機会を作る。保健体育が苦手な生徒の個別指導を充実させ、苦手意識を少なくさせるようにする。習熟度別グループでの授業も行い、それぞれの能力に合った練習をする機会を作る。

<第3学年>

指導方法の課題の分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
<p><新体力テストの結果より></p> <ul style="list-style-type: none">男子の合計得点は全国平均より低く、東京都の平均より高い。女子は全国・東京の平均より低い水準にある。男女ともに「長座体前屈」が低い傾向にある。 <p><授業アンケートより></p> <ul style="list-style-type: none">アンケートを取った際「板書やプリントの見やすさ」について十分でないと感じている生徒がいる。保健分野に対して苦手意識がある。	<ul style="list-style-type: none">「体づくり運動」の単元を工夫し、主に柔軟性が高められるような授業展開にする。新体力テストの結果を振り返らせ、生徒自身が自分の体力について関心をもたせる。運動やスポーツの必要性や重要性を体育分野、保健分野から指導できるようにする。保健分野において身近な題材を教材にし、保健の単元に対して意欲的に学習できるようにする。	<ul style="list-style-type: none">体育委員会を活用し、朝や昼休みなどに運動に親しめる機会を作る。保健体育が苦手な生徒の個別指導を充実させ、苦手意識を少なくさせるようにする。習熟度別グループでの授業も行い、それぞれの能力に合った練習をする機会を作る。